

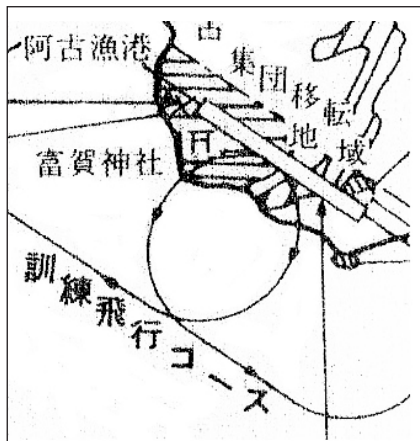
会長時評

# 「NLP」基地の三宅島誘致問題 反対の立場を明確に

1985(昭和60)年8月の島民反対署名

| 地区名     | 有権者数  | 署名数   | %     |
|---------|-------|-------|-------|
| 坪田      | 926   | 807   | 87.1  |
| 伊ヶ谷     | 284   | 204   | 71.8  |
| 神着      | 716   | 583   | 81.3  |
| 伊豆      | 418   | 376   | 90    |
| 阿古      | 1,003 | 776   | 77.3  |
| 合計      | 3,347 | 2,746 | 82.01 |
| (-117人) | 3,230 | 2,746 | 85%   |

期間中在島しない有権者が117人



NLPの訓練飛行コース



浅沼徳広議員



平川大作議員

今年度最初の村議会で、「NLP」基地の三宅島誘致問題が取り上げられた。櫻田村長は「受け入れることはない」と答弁したが、1983年に大きな混乱や対立をもたらした問題だけに、今後の成り行きが心配される面もあり、村長や村議会は、絶対反対の立場をはっきり表明し、貫くことが重要だ。

平成25年第1回村議会定例会議が、3月12日から29日までの18日間開かれた。

一日目に村長施政方針や各議員の一般質問が行われた。注目の2月12日の衆議院予算委員会の石原都知事のNLP基地



発行所：三宅島ふさと再生ネットワーク  
〒100-1101  
東京都三宅島三宅村神着 320-2  
Tel. 090-4922-0798  
発行人：会長 佐藤就之

## 大丈夫です三宅島

4月17日に三宅島の近海を震源に発生した地震について、北海道や神戸など、全国各地から多くの見舞いや激励の電話やメールをいただきました。ありがとうございます。

戸棚の食器が落ちることもありましたが、それ以上の大きな被害はありませんでした。

三宅島は大丈夫です。5月の連休の観光などにも、おいでください。お待ちしております。

佐藤就之

【三宅島ふさとネット事務局】

郵便番号：173-0005

住所：板橋区仲宿 25-6

電話：03(3963)5678

FAX：03(3963)5697

担当：加藤

の三宅島誘致発言も二議員が取り上げた。浅沼徳広議員は、速記録によると、「三宅島の地ならしもしました」とある。実際の様な接触か。また、NLPに対する村長の考え方を知りたい。

平川大作議員から①村長に対して、何らかの働きかけがあつたか。②村長はこの事をどう考えるかなどの質問があつた。

村長は、「今後、三宅島はいかなる事態が発生しようとも絶対受け入れられるものでは御座いません。また、何の話も来ていない」と明言した。

**復興の大きな障害に**

質問後の休憩時間に二議員に村議会の反対表明について質問した。前回

浅沼議員は、前回

(1983「昭和58」年12月21日、村議会の突然の強行採決)の様な事は、議会の構成からみて考えられないので、今後の様子を見たい。

平川議員も、今後の動きを見てからと述べた。ふるさとネットは、いち早く「三宅島ふるさとだより」35号で2月25日付の佐藤会長の談話を発表し、島内に全戸配布をした。

「NLP設置反対の早期表明を」の中で、「2月12日の石原氏の三宅島NLP設置発言は、前回と同様、島内外で無用な対立、混乱と疑心暗鬼を生じさせ、三宅島災害の再生・復興に多大な障害要因となります。従って早期に櫻田村長と村議会とは、反対表明をしてください」と訴えた。

## 豊島区防災フォーラムでアピール

# 長期災害への体制づくりなど



噴火災害の現状について語る佐藤会長

### さつま餅などを販売

「平成24年度豊島区防災フォーラム」1・17神戸から3・11東日本そして未来へ」が、3月9日に池袋西口公園および東京芸術劇場で開催された。

当日は、防災やボランティアの活動を行っていた中高生の活動紹介、中高生たちが防災について考える防災ユースサミットなどが行われた。災害復興支援団体も招待され、阪神淡路大震災の「1・17希望の灯り」、東日本大震災の復興支援のため南三陸の海産物を

ふるさとネットは、3月9日に池袋西口公園などで行われた豊島区防災フォーラムに、東日本大震災で被災をした石巻市の高校生などとともに参加。その中で、物産店を開いてさつま餅などを販売するとともに、佐藤会長が挨拶に立ち長期災害への体制づくりの重要性などをアピールした。

### 佐藤会長が挨拶

フォーラムの第2部では、参加団体の紹介が行われた。

都立大泉桜高校、神奈川県川島向上高校、同卒業生から成る「DTPA」などの団体に続き、ふるさとネットからは佐藤就之会長が登壇し、島の現状や訪問活動などふるさとネットの活動内容について紹介。それとともに、三宅島の災害は、もう

販売する「たみこの海パック」などが参加。三宅島ふるさと再生ネットワークもパネル展示と三宅島物産店、新報およびチラシの配布を行った。

物産店には、三宅島から直送の明日葉と里芋、島民の方が作った3種類のさつま餅が並んだ。来店者の中には島に釣りをしに行ったことがある方などもあり、島の現状について尋ねている姿も見られた。

## 齋藤塾 研修会 島の現状などを報告

まちづくり支援機構・齋藤塾主催の「三宅島の復興に関する研修会」が、3月6日、ふるさとネット世話人で舞踊家の鶴吉さんのスタジオ（新宿区）で開



鶴吉スタジオでの勉強会および交流会

長等が報告を行った。第2部の交流会では、参加者が歓談を交わすとともに鶴吉さんが「望郷の詩」等の舞を披露して盛況のうちに終了した。

催された。

今回の研修会の第1部では、坪田地区で島民のストレス度調査をしている玉川大学講師の大森哲至先生の講演が行われたほか、島の現状と三宅島新報の編集作業を含めたふるさとネットの活動について、佐藤就之会長

終わったと思われがちですが、未だ完全に復興はしておらず、今後も皆さんの支援、協力が必要です。ぜひ島に観光に来てください」と、震災を風化させず伝えていくことの大切さや長期災害に対する体制づくりが必要なることを訴えた。

また、第2部では、この日のために上京した石巻西高校校長、および生徒からの挨拶や詩の朗読、そして、まだ大きな傷痕が残る被災地の状況が報告された。

なお、この企画はふるさとネット世話人の京町（みやこ）さんが企画、運営に関わり、実現したものだ。

# 「おきみくら」で新春の集い 多くの人楽しい時間を



高橋さんによる乾杯の挨拶

## 参加者全員が自己紹介

今回の「新春の集い」には、三宅島から3名が参加したほか、ふるさとネット世話人やDTP A、その他報道関係者など25人が参加した。第一部は、18時40時に

ふるさとネットの「新春の集い」が、3月9日18時30分から品川区にある青物横丁にある「ビストロおきみくら」で行われた。島民や世話人、報道関係者など多くの人が参加して盛大に行われ、今年も様々な立場の人の交流の場となった。

佐藤就之会長の挨拶、そして、文化放送の高橋民夫さんによる乾杯の音頭で開始した。その後、参加者一人ひとりが三宅島やふるさとネットとの関わりなどを交えながらの簡単な自己紹介を行ない、三宅島支援について

の意見などを述べた。その中では、東京都議会議員の馬場裕子さん、齋藤塾塾長の齋藤實先生（2面に関連記事）にも、三宅に対する思いなどを語っていた。

## フラダンスをみんなで

第2部は、世話人で神奈川県私立向上高校校長の山田貴久先生と同校教諭の高橋邦夫先生による「向上ボーイズ」の賑や

## 向上ボーイズ 高橋邦夫さん これからもギターで協力を



「新春の集い」で、「向上ボーイズ」として、ギター

演奏を始めてから8年になります。残念ながら、まだ三宅島に行ったことはありませんが、「自分ができることなら」という思いで演奏をさせていただいています。少しでもお役に立っているのだから、

ば、とても嬉しいです。また、演奏をすることにより、様々な立場の人と接点を持つことができていることが、心の財産となっていると思います。できることを長く細く、1年に1回だけですが、今後も要請があれば、長く続けていきたいと思っています。

かなカントリーのギター演奏で始まった。続いて、三宅の支援をするふるさとネット世話人の糸井真由美さん、小林舞さんによる手品が会場を盛り上げた。さらに、島から参加をしてくださった光安千久

最後に酒井一豊副会長が閉会の言葉を述べ、またの再会を約束しながら、「新春の集い」はお開きとなった。



参加者全員でフラダンスを

子さんと、浅沼栄子さんが、島で取り組んでいるフラダンス3曲を披露。最後の1曲は、会場の光安さんらが参加者全員に呼びかけ、全員でフラダンスを踊った。

会場になった「おきみくら」は噴火以前に坪田で民宿を開いていた赤木一之さんが経営する店。赤木さんの提供するおいしい料理を食べながら、穏やかな雰囲気では進行し、「新春の集い」は賑やかな交流のひとつとなった。

# 観光業復活への期待 初夏のイベント盛りだくさん

初夏の観光シーズンを迎え、三宅島ではバードウォッチングなど観光客を迎えるための様々な企画が立てられている。7月以降も多くのイベントが予定されているほか、大手旅行会社もツアーを再開するなどの動きが出はじめ、島の主要産業としての観光業復活への期待が大きく膨らむ。

今年は、夏から秋にかけて大型イベントが目白押し。三宅島。ぜひ島に足を運んで下さい。今、再生・復興途上の元気な島民の姿と素晴らしい自然の再生力や営みを見て頂きたい。

○5・6月バード・アイランドフェスティバル  
3から6月は、早朝から鳥たちの大合唱が始まる。3月16日には、ホトトギスの第一声を聞いた。まだ早いよとつぶやいたが、聞こえたか？その後は、しばらく耳にしない。  
心優しい日本野鳥の会

レンジャーたちも大活躍で20周年を迎え柳生博会長の講演会も予定。島の自然や野鳥について説明してくれる三宅島自然ふれあいセンターアカコッコ館は、4月下旬から土日・祭日は、ほとんど連日イベントを開催。  
☆おてがるバードウォッチング(申し込み不要)  
5月3・4・5・18・19日の間、8時30分から9時30分。5月18日と5月25日は10時30分から11時30分にも実施。  
☆大路池ガイドウォーク  
5月3・4・5日10時30分から11時30分

## おいでください青空市

5月19日(日)新宿区の神楽坂商店街(神楽坂6丁目付近)にて青空市が、12時から18時まで行われます。ふるさとネットワークでは、「三宅島物産店」を出店し、物産の販売と、三宅島の情報を来場者に伝えられるようにパネル展示をします。

明日葉、芋餅、くさやなどお馴染みの品物から、揚げたて明日葉天ぷらの販売、新メニューの販売も検討中です、ぜひお越しください。

## ご寄付者名

遠藤芙美子様、柚木裕子様、遠山定雄様、大森哲至様、岩井美路子様、大石陽子様、芳賀雅美様、齋藤實様、M様、吉田信行様、櫻田薫様  
(2月8日から4月9日まで)

ありがとうございました。頂いた寄付金は、大切に使うて参ります。今後も、ご支援よろしくお願い致します。

☆春の渡り鳥を探そう  
5月25日、8時から17時。いずれもアカコッコ館集合、申し込み必要、バス予定。  
※5月19日釜方海岸他。26日阿古地区で鳥を探そう等毎月イベントあり。  
問い合わせは、☎04994-6-0410またはHPで  
**7月以降の企画**  
○牛頭天王祭(神着地区) 7月14・15日宵宮と神輿  
○マリンスコーレ21フェスティバル 商工会主催 7月下旬土・日予定  
○スポーツ祭典2013・フイッシング競技 7月6日、期間5月31日まで  
・トライアスロン大会 in 三宅島 10月5日

○富賀神社大祭 8月上旬各地区を神輿が巡行。  
○夜祭りの踊り 8月の盆の前後に、各地区の青年団などが企画、老若男女のロマンスの花が咲くか。  
○WERIDE三宅島エリデューロウレース 10月下旬予定。  
○イルカウォッチング・ドルフィンスイム イルカと遊ぼう！受付中  
○レジャーアイテムレンタル開始 観光協会では、ライフジャケット、バーベキュー機材セット、クーラーボックス、子供用スノーケルセットなどレンタル。他に観光ガイドも！  
観光協会 ☎04994-5-1144・mail@niyakejima.or.jp

## 編集後記

3月に豊島区防災フォーラムに、ふるさとネットの方々とともに参加させていただきました。  
まだ三宅島が完全に復興していないことを改めアピールする場となりました。私たちもできる限りのサポートを続けていきます。  
(DTPA一同)